

私立大学図書館協会 2005 年度東地区部会総会 議事要録

日 時：2005年6月10日（金）10：00～11：30

会 場：昭和女子大学 学園本部館 3階会議室

開会の辞	司会者（会場校）	昭和女子大学図書館事務部長	柳 秀子
開会の挨拶	部会長校	駒澤大学図書館長	林 達也
挨拶	会長校	龍谷大学図書館学術情報センター長	松井 賢一
挨拶	会場校	昭和女子大学図書館長	木村 修一
議長選出	司会者（会場校）	昭和女子大学図書館事務部長	柳 秀子
開会宣言	議長	日本女子大学図書館長	新海 邦治

議長より、部会総会に先立ち、出席校が会則(私立大学図書館協会会則第 24 条)の定足数に達し、部会総会が成立した旨の報告があった。

<部会成立状況>

加 盟 校 数：237 校(部会成立に必要な校数は 237 校の過半数=119 校以上)

出 席 校：90 校（出席者 139 名）

委任状提出校：141 校

合 計：231 校

欠 席 校：6 校

引き続いて、新規加盟予定校である下記 7 校の紹介がなされ、新規加盟予定校に対して拍手で了承された。なお、新規加盟予定校については、8 月に松山大学で開催される私立大学図書館協会総会にて承認され正式加盟になる旨の報告があった後、議事進行に入った。

静岡英和大学 (当日欠席)

日本薬科大学 (当日出席)

東京富士大学 (当日出席)

秋田看護福祉大学 (当日欠席)

白梅学園大学 (当日欠席)

東京聖栄大学 (当日欠席)

群馬社会福祉大学 (当日出席)

議 事

I 報告事項：

議長より、全ての報告事項を纏めて報告した後、質疑応答に入りたい旨の要請があり、了承された。

1. 2004年度東地区部会会務報告及び研究部活動報告

部会長校駒澤大学（櫻井）より、資料（p.3-6）に基づき2004年度東地区部会会務報告の説明があった。引き続き、研究部担当理事校国士舘大学（齊藤）より、資料（p.7-9）に基づき研究部活動報告について報告があった。

2. 2004年度協会関係報告

部会長校駒澤大学（櫻井）より、資料（p.10-14）に基づき協会会務報告及び協会賞審査委員会・研究助成委員会報告、国際図書館協力委員会報告、永年勤続表彰制度検討委員会報告がなされた。

協会会務報告の中で、西地区の2005年度新規加盟予定校に1校追加申請があったことが報告され、2005年度加盟校数(予定)が修正された。

資料修正（p.10）：*西地区 2005年度新規加盟校(予定)追加申請

沖縄キリスト教学院大学

2005年度加盟校数(予定) 241校 → 242校

3. 2004年度協会関連報告

部会長校駒澤大学（櫻井）より、資料（p.15）に基づき国公立大学図書館協力委員会報告の報告があった。

以上、報告事項1. 2. 3. について、拍手で了承された。

II 協議事項：

議長より、協議事項については2004年度決算関係と2005年度事業計画及び予算関係とに分けて協議していきたい旨の要請があり、了承された。

1. 2004年度東地区部会決算報告

部会長校駒澤大学（櫻井）より、資料（p.16）に基づき2004年度東地区部会決算報告について報告された。

2. 2004年度東地区部会研究部決算報告

研究部担当理事校国士舘大学（齊藤）より、資料（p.17）に基づき2004年度東地区部会研究部の決算報告について報告された。

これを受けて、監事校文教大学（三瓶）より、東地区部会決算および東地区部会研究部決算について監査結果が報告された。

以上、協議事項1. 2. について、拍手で承認された。

3. 2005年度東地区部会事業計画（案）及び予算（案）

部会長校駒澤大学（櫻井）より、資料（p.18-19）に基づき2005年度東地区部会事業計画(案)及び予算(案)について説明があった。

4. 2005年度東地区部会研究部活動計画（案）及び予算（案）

研究部担当理事校国士舘大学（齊藤）より、資料（p.20-21）に基づき2005年度東地区部会研究部活動計画(案)及び予算(案)について説明があった。

以上、協議事項3. 4. について、拍手で承認された。

III 承合事項

提出なし

IV 懇談事項

「永年勤続表彰制度検討委員会答申」について

部会長校駒澤大学（櫻井）より、資料（p22-24）に基づき「永年勤続表彰制度検討委員会答申」について、第1回常任幹事会において「永年勤続表彰制度検討委員会」の答申を是とし2006年度から廃止することの合意が得られた旨報告された。

また、本制度の廃止という互換性の観点から「協会賞」の代替案も意見も出されたが、協会事業の見直しと活性化ということから「協会賞」「研究助成」のあり方や「国際協力委員会」等の協会活動をとおして今年度中を目途に検討される。

このため、本制度の廃止に対する意見と廃止後のあり方についてもご意見を伺いたい旨の発言があった。

これについて、以下の意見があった。

意見：永年勤続表彰制度の廃止については賛成であるが、答申内容で図書館職員の現状をどのように認識しているのか、どの視点に立ちこの制度を廃止するのかを明示していない点が疑問である。（千葉科学大学衛藤氏）

回答→：敢えて明言を避けた表現になった。これまでの委員会での検討では、本制度の廃止という結論は得たが、廃止時期をいつにするのか、廃止後、協会活動の活性化につながる代替の事業案をどう策定するか等々曖昧な部分を残しており、今後の東西合同委員会で検討する。

（永年勤続表彰制度検討委員会委員 早稲田大学旭氏）

なお、部会長校駒澤大学（櫻井）より、以上に関するご意見は部会長校駒澤大学図書館に7月中旬頃までを目途にいただきたい旨要請があった。

V その他

部会長校駒澤大学（櫻井）より、国際図書館協会連盟（IFLA）の「第72回世界図書館情報大会」が2006年8月20日から24日に開催されるため、受付にある資料参照と参加依頼の案内があった。

閉会の辞 司会者（会場校） 昭和女子大学図書館事務部長 柳 秀子

以 上